

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

70号
2021
11.12

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

園内で野鳥の死骸を発見されました。鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

紅葉ライトアップ! 2021

11/13(土)~12/5(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後8時閉園(入園は7時半まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時~午後8時開室(入室は7時半まで)

※ 2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中! (植物園会館売店および各門にて)

← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。 →



第55回 菊花展

○期間: 10月20日(水)~11月15日(月)
○場所: 大芝生地特設展示場、正門前、植物展示場
○内容: 大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等約300鉢を展示(販売あり)

第8回 苔・こけ・コケ展

○期間: 11月12日(金)~11月14日(日)
9:00~17:00(最終日16:30まで)
○場所: 植物園会館1階展示室
○内容: テーマ「~小さな緑 秘めたる生命力~」コケの栽培品やコケの生態写真、コケアートや工芸品を展示(コケグッズの販売あり)

◆11/13(土)、14(日) 苔・こけ・コケ展開連講習会

〈午前の部〉10:30~12:00(受付 10:00~)
〈午後の部〉13:30~15:00(受付 13:00~)
○場所: 植物園会館2階研修室
○内容: 「コケと遊ぼう」コケテラリウムを作る
○講師: 泉原一弥氏(地球温暖化防止活動推進員)
○定員: 各回、先着20名(材料費:1,500円)

◆11/12(金)~14(日) 苔・こけ・コケ展開連観察会

〈午前の部〉10:30~11:30(受付 10:00~)
〈午後の部〉13:30~14:30(受付 13:00~)
○場所: 植物園会館前集合 ○定員: 各回、先着10名
○内容: 植物園内のコケ観察

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内!

毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「副園長のほっこりガイド」

11月21日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!



第30回 寒蘭展

○期間: 11月19日(金)~11月21日(日)
9:00~17:00(最終日16:00まで)
○場所: 植物園会館1階展示室
○内容: カンラン約100点及び席飾り5席を展示(販売あり)

紅葉散策ツアー

○日時: 11月20日(土) 13:00~13:45
○場所: 植物園会館前集合
○内容: モミジやフウ、イチョウなどの紅葉を職員が案内
※20日の「土曜ミニミニガイド」を兼ねています!

♪ 秋のものづくりガーデン&ミュージックガーデン

○日時: 11月21日(日) 9:00~16:00
○場所: エコ路地、北山門広場周辺
○内容: アクセサリー、お菓子、工芸品など手作り品の店舗が大集合!
ミニコンサートも同時開催します!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~
① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
③ ガイドは1時間程度。(無料)
* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ キンシヤチ(金鯨)

サボテン科。メキシコ中部原産。当園の個体は1930(昭和5)年11月にメキシコのバルメー博士が宮内庁に献上された一つで、本種が日本に最初に導入された固体である。1990(平成2)年に京都大学農学部附属農場より寄贈された。

⑪ 子福桜(コブクザクラ)

バラ科。野生種のカラミザクラとコヒガンから生まれたと考えられる栽培品種。一つの花に雌しべが複数あることが特徴。そのため、一つの花に複数の果実が実ることから「子宝に恵まれるめでたい花」とされ、それが名前の由来となった。

⑩ プラティケリウム・ワンダエ

ウラボシ科。ニューギニア原産の着生シダ。半椀状に成長する貯水葉と、胞子がつく胞子葉との2種類の葉を持つ。胞子葉の裏には、胞子嚢(のう)が集まってできた茶色いソーラルパッチがあり、その形や付き方によって種を識別できる。

⑨ キバナコスモス

キク科。野生種はメキシコ原産。一般的に知られるコスモスとは別種で黄花。種小名の *sulphureus* は花色に由来する。本種は耐寒性も強く日長の影響も受けにくいので盛夏から観賞可能。繁殖力が旺盛でこぼれ種でも良く育つ。

① サンシュユ

ミズキ科。中国、朝鮮半島が原産。春には葉が出る前に黄色い小花が咲き、木全体が黄金色に輝く。秋にはグミのような艶やかで赤い実が成る。この様子からハルコガネバナ(春黄金花)、アキサンゴ(秋珊瑚)などの別名でも呼ばれる。

② パパイア

パパイヤ科。熱帯および亜熱帯地域原産。沖縄などでは果物としてよりもむしろ野菜として利用されている。冬の寒さで枯れてしまうため、当園では、秋に種まきを行い、冬はガラス温室で越冬させ、4月下旬以降に花壇に定植している。

③ トウゴマ

トウダイグサ科。東アフリカ原産。別名でヒマとも呼ばれ、種子から得られる油はヒマシ油として広く使われている。属名の *Ricinus* はラテン語で「ダニ」を意味しており、その名のとおり果実は模様と出っ張りのため、ダニに似ている。

④ アマミヒイラギモチ

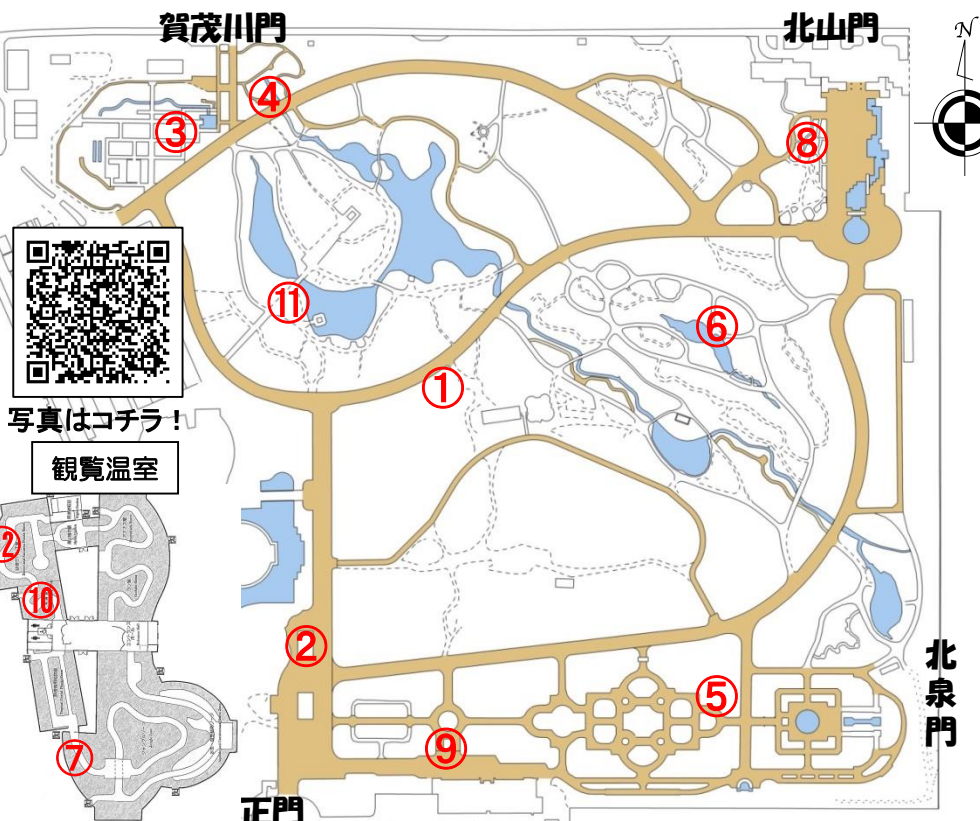
モチノキ科。奄美大島の山地にのみ分布する奄美大島固有種。雌雄異株で前年枝の葉腋にあるごく短い短枝に1~3個の花をつける。花は緑白色の小さな4弁花。果実は直径6mm程度の球形で赤く熟す。園芸用として採集され激減した。

⑤ バラ「うらら」

バラ科。蛍光色のような濃いピンクの花色が魅力的な日本で作出された品種。形の良い花が株を覆い尽くすほどに咲き競う。花付きが良く、春から秋まで休みなく開花し、夏でも色あせず鮮やかに開花する。1995年JRCコンテストで金賞受賞。

⑥ キクタニギク

キク科。岩手以南の本州、九州北部などに分布。山地の谷間のやや乾いた崖や、山麓の土手などに生える。府内では丹後地域や南丹地域などで分布記録があるが、和名のもとになった京都市東山区菊谷(溪)では絶滅したといわれている。



写真はコチラ！
観覧温室

⑧ ユリオプスデージー

キク科。南アフリカを中心に分布。岩場や砂丘の斜面に自生する。葉や茎に細毛が生えているので、全体が灰白色に見える。黄色の花を長期間咲かせ、株は大きくなる。暖地では冬越しができる。

⑦ イクソラ

アカネ科。熱帯各地に約400種が分布。花は直径2~3cmの小花が多数集まって半球状に咲く。花色は紅、淡紅、橙、黄や白と豊富である。開花期間が長いことから、現地では景観樹や花壇、生け垣などに利用されている。